

## 兵庫県保険医協会北阪神支部主催 経営対策研究会

患者満足度を向上させる増患対策 **参加無料**

# 職員のやる気を引き出し

# 流行る医療機関に

日時 **7月18日(土)** 15時～17時

会場 **いたみホール** 5F会議室3

(TEL : 072-778-8788)

講師 (株)リガヤパートナーズ代表取締役  
**園田 幸央氏**

定員 **30人** (定員になり次第締め切ります)



医療機関の数が増加することは、患者さんの選択肢が増え、受診する医療機関に対する評価も厳しくなることを意味します。患者さんは病院、医院を選ぶにあたり何を基準としているのでしょうか？そしてまた来院したくなるような医療機関の条件とは何なのでしょう？

今回の懇談会では、医療機関での経験も豊富な講師をお迎えし、具体的な事例を踏まえて、スタッフがやる気に溢れ、活気ある職場づくりのノウハウなどについておはなしいたします。

院長先生をはじめ、雇用管理を担当されている方々のご参加をお待ちしております。

**\*新規開業の先生方はもちろん、ベテランの先生方も満足の最新の話が満載です！**

※恐れ入りますが、下記FAXにてお申し込みください。

お問い合わせは協会事務局 吉永・小川まで TEL078-393-1809

(切り取らずに返信ください)

経営対策研究会(7/18)に

参加する ( )人

地区 \_\_\_\_\_

お名前 \_\_\_\_\_ 職種( )

☎ \_\_\_\_\_

FAX \_\_\_\_\_

兵庫県保険医協会

# 北阪神支部 ニュース

2009年6月25日号 No.194

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部  
支部長 中井通治

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31  
神戸フコク生命海岸通ビル5階

☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802

http://www.hhk.jp/

宝塚社保協ヒブワクチン申し入れ

## 子らの命を守る費用助成を!

北阪神支部が参加する社会保障をよくする宝塚の会(宝塚社保協)は5月28日、宝塚市健康センターで細菌性髄膜炎を予防する「ヒブワクチン」の接種費用助成についての申し入れを行った。同会副会長の中井通治支部長、脇野耕一副支部長が出席、市側は今里典子健康推進課長らが対応した。



申し入れ書を受け取る脇野先生(左)、中井先生(左2人目)

脇野先生は細菌性髄膜炎について「国内で年間約1千人の子どもが罹患し、うち6割がヒブ菌で起こる。抗生物質による治療を行っても難聴や発育障害などの後遺症が残り、最悪の場合5%程度の子どもが死に至る」と危険性を強調。また、ワクチン接種に関して「各国で15年以上前から実現しており、世界的にはヒブ菌による髄膜炎はすっかり過去の病気になっている。任意接種の実現は成果だが、全4回の接種で約3万円(1回約7~8千円)にのぼる費用は子育て世代にとって大きな負担。最終的には定期接種化を国に求めることが必要だが、接種費用の助成制度を創設することが市民の健康を守る行政の責任ではないか」と訴えた。

市側は「ワクチンの有効性・必要性は認識しているが、現実的には助成制度創設は困難。3種混合と同時接種なので国の責任で定期接種化されれば対応できるが、命に関わる問題なので医師や住民の合意をつくっていくことが重要」とした。

中井先生は「ヒブ菌の怖さが市民にも知られてきており、問い合わせも多い。接種への『動機付け』のための部分的な援助も含め検討を」と重ねて訴えた。

解説) Hib(ヒブ) ヘモフィルス・インフルエンザ菌 b 型の略称。日本では07年にメーカー申請から約4年かけてフランス製の予防ワクチンが承認された。昨年12月から任意接種が可能になったが、高い自己負担が問題となっている。

## 宝塚社保協「後期医療」廃止署名行動

# 「老人いじめ」総選挙で審判を

### 粘り強い取り組みに大きな反響

宝塚社保協は4月1日と15日、6月15日に後期高齢者医療制度の実施後1年と保険料天引き日にあわせ、阪急宝塚駅、逆瀬川駅前などで制度廃止を求める宣伝・署名行動を行いました。6月の宣伝では各団体から7人が参加し、1時間で37筆の署名を集め、署名用紙入りビラ・ティッシュ300セットを配布しました。

街頭宣伝にたった田中こう市議員(共産)は「戦後の復興期を支えた高齢者の恩に報いるどころか、医療内容を制限する非情な制度。大企業優遇の政治を改めて廃止に追い込もう」と通行人に訴えました。

署名に応じた市民からは「反対を押し切った実施から1年が経つのにいまだ改善されないのは疑問」「総選挙の大きな争点の一つになることは必至。何としても廃止したい」などの声が聞かれました。



「高齢者には安心できる社会を準備するのが政治のつとめ」と田中市議(上・6/15)主婦の方も「ひとごとでない」と署名(下・4/1)

## 健康情報テレホンサービス

〈7月のテーマ〉 通話料無料 (0120) 979-451

- 月曜日 食物と子どものアレルギー
- 火曜日 インプラント(人工歯根)治療とは
- 水曜日 足の痛みと靴選び
- 木曜日 激しい腰の痛み-尿路結石について
- 金土日 ノイローゼ(神経症)について

-精神疾患との違い

※テレホンサービスは、協会ホームページでもご覧いただけます。既放送分も掲載しています。

<http://www.hhk.jp/>



## 写真で振り返る6・14

# 協会設立40周年記念総会を開催

## 小泉勇先生が表彰

協会は6月14日、神戸国際会議場で第41回設立40周年記念総会を開催。全体で227人、北阪神支部からは15人が参加した。現職役員で25年以上在籍の80歳以上の先生を代表して小泉勇先生(支部幹事/伊丹市)が表彰を受けた。記念講演では「医療における倫理とその実践」をテーマに京都大学名誉教授の福島雅典先生が講演した。



(左上から時計回りに)①福島先生は医療における倫理と実践を「科学」「人」「法」の3側面から紹介した②池内春樹理事長から感謝状を贈呈される小泉先生(右側)③懇親会では支部の先生方を中心にわきあいあい④川村雅之先生の「ガンパロー!!」で大団円